

# Colorful

Colorful(カラフル)は、一人ひとりの違った個性(色)が発揮される社会を表しています。

巻頭  
特集

## U30が語る人権とジェンダー



ジェンカレッジ

櫻井 彩乃 さん



FIFTYS PROJECT

山島 凜佳 さん



一般社団法人ソウレッジ

鶴田 七瀬 さん

性暴力被害者支援情報  
プラットフォームTHYME

ト田 素代香 さん

### CONTENTS

- ◇巻頭特集◇ U30が語る人権とジェンダー ..... P 2-5
- ◇PICK UP BOOKS◇ ..... P 6
- ◇みんなカラフル◇ あなたが声を挙げた経験は? ..... P 6
- ◇もっと知る◇ データで見るU30世代の社会課題への意識 ..... P 7
- ◇相談窓口と人権・男女共同参画推進センターのご案内◇ ..... P 8

# U30が語る人権とジェンダー

～アクティビストのこれまでと望む社会～



FIFTYS PROJECT  
(やましま りんか)  
山島 凜佳 さん

FIFTYS PROJECT運営メンバー。  
プライドハウス東京ユースユニットメンバー。  
石川県金沢市出身。2003年生。  
クィアな(\*1)フェミニスト(\*2)  
大学生。

性暴力被害者支援情報  
プラットフォームTHYME  
(うらた そよか)  
ト田 素代香 さん



自身の性暴力被害とその後の司法手続きの経験から、当事者に向けた支援情報を掲載するWebサイトTHYMEを立ち上げ。  
大学ではジェンダー研究を専攻。フェミニスト。



一般社団法人ソウレッジ  
(つるた ななせ)  
鶴田 七瀬 さん

北欧にて教育・医療福祉施設を多数訪問。後に「性教育の最初の1歩を届ける」ことを目指し、ソウレッジを創業。現在は緊急避妊薬の無償提供と性知識を届ける「おひさまプロジェクト」を中心に、妊娠にまつわる課題解決に努めている。

ジェンカレッジ  
(さくらい あやの)  
櫻井 彩乃 さん



「#男女共同参画ってなんですか」代表として第5次男女共同参画基本計画へのアドボカシー活動や「#いつになつたら選べますか」キャンペーンを実施。内閣府男女共同参画推進連携会議有識者議員、こども未来戦略会議有識者構成員等を務める。

近年、ジェンダー（社会的性役割）に関する話題が、ニュースでも取り上げられるようになってきました。自分と遠いことのように感じる人もいるかもしれません、女らしさや男らしさといったジェンダーは、みんなに関係があるものです。カラフル7号では、ジェンダーや人権にまつわる社会問題の分野で活動するアクティビスト4人に、こうした問題に関心を持ったきっかけや、これまでの活動の軌跡、思いについて寄稿してもらいました。

(\*1)クィアとは、社会の規範的な性のあり方とは違う性のあり方を持つ人のこと

(\*2)フェミニストとは、ジェンダー平等を望み、ジェンダー規範やジェンダーに基づく差別に反対する人のこと

## 人権やジェンダーに关心を持ったきっかけは？

人権やジェンダーの問題について、最近になってニュースで話題になることも増えてきましたが、みなさんが幼い頃はまだまだ馴染みのない言葉だったのではないかでしょうか。どんなきっかけでこの分野に关心を持ったのですか？



学校の道徳の授業で習う、思いやり程度の「人権」が、本当はそれぞれ個人の心持ちの問題ではないと分かったのは、プライドハウス東京レガシーのスタッフ向け研修でした。「個人の努力」ではない「特権」という概念があることや、差別は構造の問題であることを知ったときは衝撃を受けたとともにとてもエンパワーされました。



大学で初めてジェンダーに関する講義を受けたとき、幼少期からの自分のもやもやした体験と深く結びつく感覚がありました。これまで私の力を奪ってきたのはジェンダーの問題だったのかもしれないと思い、「自分のことを研究していくんだ」という感動がありました。それからジェンダー研究を専攻することを決めました。



小学生になるときにランドセルの色が男女で異なっていることに疑問を抱いたことがきっかけの一つです。私は黒のランドセルが欲しかったのですが、「女の子は赤色だよ」と言われ買ってもらいうことが出来ませんでした。なぜ私は黒色のランドセルを買ってもらえないのか、なぜ性別によって色が決められているのか不思議に思いました。



高校2年生の時、同級生から「女は黙ってかわいくしておけばいい」と言われたことが私のきっかけです。「なぜ私たちは同じ人間なのに、女性は〇〇と、男性は〇〇と決めつけられるのだろう」という疑問がわき、この疑問を追求する中で、「ジェンダー」という概念に出会いました。

# 現在の活動を始めたきっかけは？



地元の市長選挙で女性候補の選挙ボランティアをやったことがきっかけで、政治に興味を持つようになりました。こんな人が政治家になら良くなる気がする！と初めて思い、1ヶ月ほど応援した候補者が開票と同時に落選。選挙を通じて、政治の閉鎖的で暮らしとはかけ離れた慣習や、政治が生活と直結していることを知り、「政治家になつてほしいと思った人がいたら絶対に当選してもらえるように何かをしたい！」とやる気が湧きました。



大学生になり、性被害に遭ったという話を聞いたり、自分も性被害を経験したりしたことにより、性教育に対する関心は高まっていました。  
そんな時に、赤ちゃんの死体遺棄で逮捕された同じ大学の大学生の事件をきっかけに、性にまつわる課題の解決や性犯罪に巻き込まれてしまった人の支援ができるいいなとより強く思うようになりました。



自分が性暴力の被害に遭った後、PTSD治療や裁判準備をするなかで、それまでに私が受けたような支援がこの社会では当たり前のものではなく、支援に繋がっている人がほとんどないことに気づきました。公的機関や周囲の人に相談をしても「被害さえ認められない」状況があまりに多いことにも衝撃を受けました。そこから、当事者目線での支援情報や被害のその後どうしたらよいのかを、発信・情報交換できる場を作りたいと思いました。



2015年に仙台で行われた国連防災世界会議に参加し、東日本大震災で被災した女の子たちから話を聞く機会がありました。若年女性が災害時に置かれる困難な状況や、実際にどのようなことが起こったのかについての話を聞き、災害大国である日本に住む人々にもこの事実を知ってもらい、自分で自分を守る重要性を考えもらいたいと思い、防災ブックとキットの制作に取り組みました。

自分自身や身近に起きた出来事から、みなさん「何かしたい」と思ったことがきっかけなのですね。  
その後どのような思いで活動を続けてきたのでしょうか。

## それぞれの活動の軌跡



やましま りんか  
**山島 凜佳 さん**

FIFTYS PROJECT 運営メンバー  
プライドハウス東京ユースユニットメンバー



### 「政治分野のジェンダーギャップ、私たちの世代で解消を」

選挙に向けてする活動は全て無償で、全く収入がない状況には焦りがあったし、大学の授業や課題もあるので時間的制約もありました。自分の生活の基盤に余裕もない中で、やりたいことだけはどんどん出てきて持続可能ではない活動の仕方をしてしまうこともありました。誰かの人権を傷つけると感じる法案がいくつも通ったり、マジョリティ中心の価値観のなかで問題解決が前に進まない現実を目の前にしたりして、自分が無力なように感じてもうダメなのでは…と落ち込み、無理をしてしまう時もあります。でも、一緒に活動する人が増えてできることが多くなったり、フェミニスト友達がたくさんできたり、無理はしないでいようねと言い合える味方や、見ていてくれている人はたくさんいることを知っているので前を向くことができています。

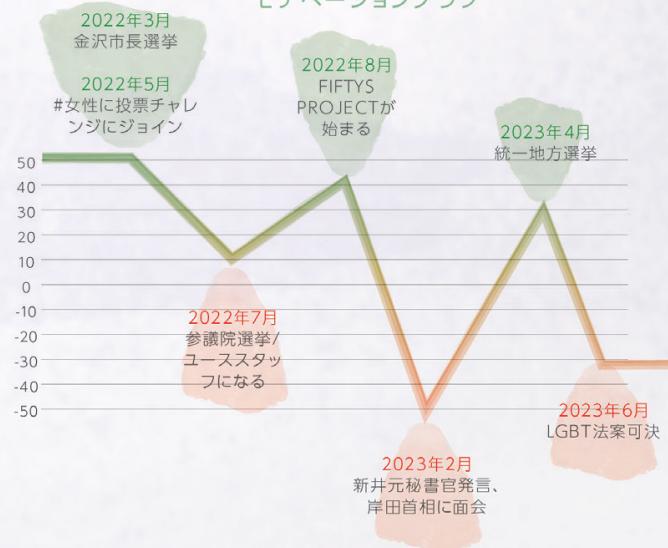
FIFTYS PROJECTではファンディングの仕組みを作っています。まだ手一杯なところもあるけれど、持てる知識やアイデア、リソースを最大限に活用しインパクトを大きくできるようにしていきたいです。

### バーンアウト(\*3)しないために気を付けていること

自分が「いいかんじ」でいられる状態を知っておくこと  
(\*3) 燐え尽き症候群のこと

自分の活動分野以外で注目している社会問題や団体・活動ジャンカルです！私がなんとなく捉えていた「ジェンダー問題」について構造的に学び、関心ごとが似ている人と繋がるきっかけになりました。ここで学んだことで、個人的なことは政治的なのだなと思えるようになりました。今年もゼミ生を募集するそうなので、学びたい、アクションしてみたい方にとてもおすすめです！

山島 凜佳 さん  
モチベーショングラフ





うらた そよか

ト田 素代香 さん

一般社団法人THYME  
性暴力被害者支援情報  
プラットフォームTHYME運営者



## 「知識はやさしさ」～性暴力被害によって未来の選択肢が奪われない社会へ～

THYMEは、性暴力被害に遭った私がその後を生き抜くための表現として生まれたサイトです。休職中THYMEを構想していたときは、社会から切り離され孤独でしたが、活動が知られ沢山の出会いとつながりがあり、今は「ちゃんと隣に立ってくれる人はいる」という気持ちです。

活動のハードルというと“二次加害”を心配されるのですが、私にとってはそれよりも、自分が本当に言いたいことを言えることの方がずっと大事です。過去に忙しくてTHYMEのことに時間が割けない時期があり、そのときほど、もどかしさを抱えていました。

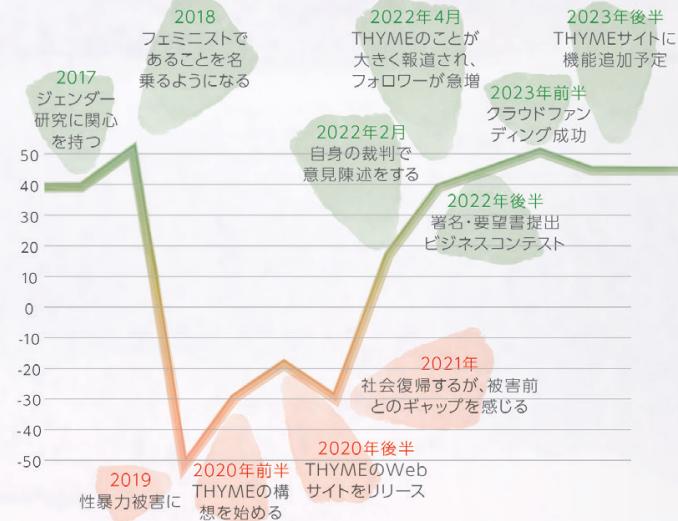
被害によって、生活も考えていることも目標も大きく変わってしまいましたが、それでも被害直後には見られなかった世界が今広がっています。性暴力が人間としての尊厳を根底から踏みにじるものであることに変わりありません。でも、被害に遭った人は弱い存在ではなく、回復する力も意思も持っています。被害に遭ってしまったらその先“終わり”ではなくて、適切なサポートにつながって回復していく社会を作りたいです。

バーンアウトしないために気を付けていること  
大切な人に話を沢山聞いてもらって、自分の感情や状態に気付くこと

### 自分の所属団体以外で注目している社会問題や団体・活動

戦争体験、語りの継承に関心があります。記録でなく記憶である「語り」の持つ力はとても大きく尊いものです。過去に沖縄や広島に行ったり、地元の戦跡について調べたりもしました。

## ト田 素代香 さん モチベーショングラフ



バーンアウトしないために気を付けていること  
フィットする人や役割を割り当てる

### 自分の所属団体以外で注目している社会問題や団体・活動

FIFTYS PROJECT



つるた ななせ

鶴田 七瀬 さん

一般社団法人ソウレッジ 代表理事

Sowledge

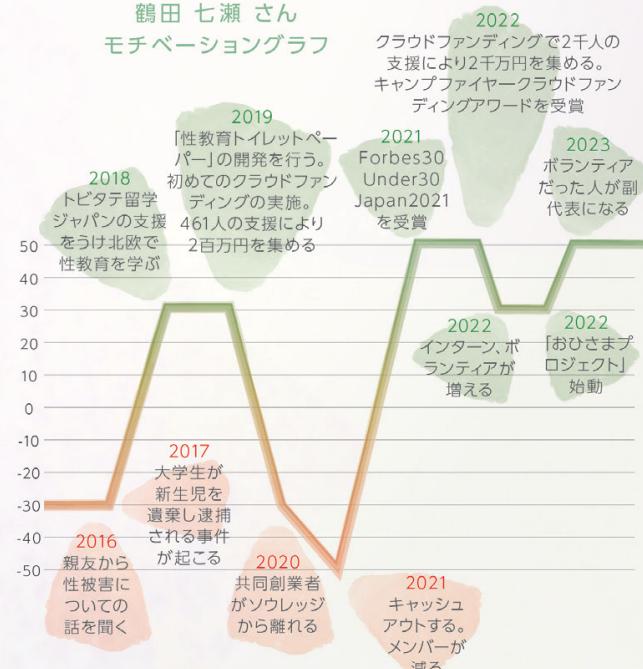


## 「妊娠にまつわる不安の根本的解決を」

活動を通じて自分が変わったと思うところは、人間関係の幅とコミュニケーションの取り方です。留学や起業支援のプログラムで出会った人々との繋がりは本当に財産となっています。また、事業を作っていく上で専門家の方や行政の方にも沢山の助言をいただきました。活動を通じて得たご縁をこれからも大切にしていきたいと思います。

コミュニケーションの取り方は主にソウレッジメンバーとの関わりを通じて変化してきました。活動を続けていく中で一番大変だったのは人間関係です。メンバーがジョインしても言葉の齟齬(そご)から関係が悪化したり、急に連絡がつかなくなったりすることもありました。元々自分のコミュニケーションの取り方に癖があると感じていた私は、一緒にずっと活動してくれるメンバーなどいないのではないかとても悩み、時間はかかりましたが、メンバーからのフィードバックや自己分析を通じてコミュニケーションの取り方を変化させてきました。最近は自分の特徴を理解してくれる副代表と一緒に活動することができ、非常に心強いです。

## 鶴田 七瀬 さん モチベーショングラフ





さくらい あやの  
櫻井 彩乃 さん

#男女共同参画ってなんですか 代表  
ジェンカレ 代表

ジェンカレ  
GENCALLE



#男女共同参画  
ってなんですか



バーンアウトしないために気を付けて  
いること

一喜一憂せずに、長期的な視点を大  
切にして楽しむこと

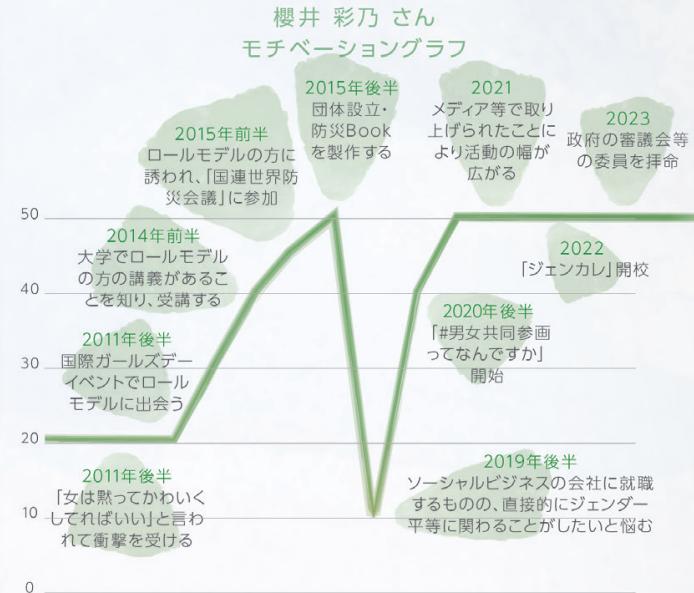
自分の所属団体以外で注目している  
社会問題や団体・活動

気候変動

## 「ジェンダーの違和感を出発点に、未来を切り拓く」

2020年から、私は若者の声を政策に反映させる活動を始めました。周囲の方々の支援を受け、内閣府男女共同参画局の第5次男女共同参画基本計画に若者の声を盛り込むことができました。若者から選択的夫婦別姓を求める声が多くあったので、選択的夫婦別姓を求めるオンライン署名キャンペーン「#いつになつたら選べますか」を立ち上げました。この活動は多くのバッシングに直面しましたが、5日間で3万筆の署名を集め、共感する仲間にも巡り会うことができました。

現在の日本の状況はまだまだジェンダー平等とは言えず、活動に対する批判を受けることもあります。しかし、政府の委員に若者として任命されたり、できることが増えたりと、これまでの活動が少しずつ実を結んできている実感があります。今はジェンダー平等な社会の実現を目指し、ジェンカレを通じて全国の若者と連携しています。これまで11年間活動を続けてきて、本当に良かったと思います。



## 私たち一人ひとりにできることは

一人ひとりの活動の軌跡や思いを見てきましたが、読んでいる方にもできること、伝えたいことはどんなことでしょうか?

**(山島さん)** 本当は政治がちゃんとやるべきことを、自分たちの生活を削りながらやっている人をたくさん見てきました。(ただでさえ生活も厳しい中なので無理ない範囲で)応援したいなと思う活動には、お金をはじめとする様々なリソースで支援して欲しいです。仲間はたくさんいる方が元気になれるので、自分の生活や楽しいことも大事にしながら、できるときにいろんな形で一緒に主張を続けていけるシステムを作りたいです!

**(ト田さん)** 見ようとなきゃ見えない痛みが誰にでも身近にあります。自分から見えなくとも存在している事実があることを受け

入れ、衝撃を受けるようなことでも否定しない人が増えるだけで、当事者が生きていくことのできる社会になるとを考えます。

**(鶴田さん)** まずは自分自身が人を傷つけないために知識を増やしていくこと。そして、得た正しい知識を周りの人々に伝えていくんですね。また、活動への寄付や、ボランティアとして参加してくれることも力になります。

**(櫻井さん)** ジェンダー平等な社会の実現には、一人ひとりのアクションが不可欠です。周りの人々と話す、署名をする、社会に良い影響をもたらす商品を購入する、寄付をする、投票するなど、自身の意思を表明する方法は多岐にわたります。自分にできる方法で行動を起こしてみてください。

## 私たちが望むのはこんな社会!

最後に、みなさんが望むのはどんな社会ですか?

**(山島さん)** 人として尊重されて、生きていくことに希望を持つことがでてワクワクできる世の中で生きていくたいです。

**(ト田さん)** 一人ひとりが、自分は大切にされる存在なんだ、行動すれば自分の生きる世界は変えることができるんだ、という自己肯定感・自己効力感を育てられる社会を望みます。

**(鶴田さん)** 妊娠の不安を感じずに、自らの人生を主体的に選択していくことができる社会を望みます。

**(櫻井さん)** 性別による苦しみや選択の制約のない社会を願い、自分らしく生きるために活動をこれからも続けます。

ユースアクティビスト4人、それぞれの挫折や原動力となっている経験をお話くださいました。誰しも日常のなかでのモヤモヤや疑問があるはず。それはあなただけでなく、誰かも同じ思いを持っているかもしれません。その思いが集まったとき、よりよい社会を作るきっかけになるかもしれませんね。

文責「カラフル」編集部



# PICK UP BOOKS



## 『あなたを閉じこめる「ズるい言葉」』

「あなたのためを思って言うんだよ」

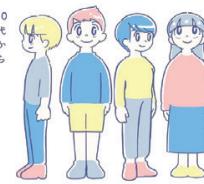
「悪気はないんだからゆるしてあげなよ」

人から言われたこんな言葉にモヤモヤしたり、言い返したりしたいけど言い返せなかった…。そんな経験はありませんか？

差別の問題を考える社会学者である森山至貴さんによるこの本では、そんな「ズるい言葉」の例がたくさん出てきます。そして、それらに隠れた悪意や偏見、差別を見抜き、自分らしくいるためのヒントがたくさん書かれています。子どもに向けて書かれた本ですが、差別について知りたい大人の入門書としてもおすすめの一冊です。

森山至貴

あなたを閉じこめる  
10代から  
おきたい

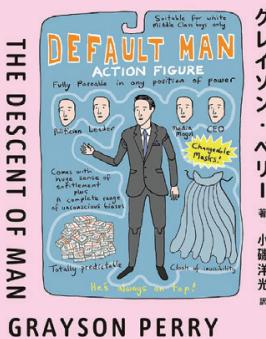


## 「ズるい言葉」

WAVE出版  
「あなたのためを思って」「もっと早く言ってくれれば」「悪気はないんだから」「私には偏見ないんで」「カクレ悪意」や「カンチガイ・善意」を  
差別を考える社会学者が  
伝えます。一生自分らしく生きていく権力を身につける

森山至貴(もりやまのりたか)著 WAVE出版 2020年

## 男らしさの終焉



グレイソン・ペリー著

小磯洋光(こいそひろみつ)訳 フィルムアート社 2019年

## 『男らしさの終焉』

“頑なに張り付いた「男らしさ」というステッカーを知の爪で剥がそう。”

ステッカーの下にいる男性は無防備で傷つきやすい。”

男性でトランスヴェスタイル※の作家・アーティストである筆者が自身の経験談をもとにしながら、ユーモアを交えて「男らしさ」について書くこの本では、伝統的な「男らしさ」がいかに社会や男性自身にとって悪影響かを批判しながらも、新しい男性のロールモデルや、フェミニズムが達成する男性の権利にも触れていきます。「男性性」という視点からジェンダーについて考えてみませんか？

※トランスヴェスタイル…異性の服装をする人。

文責「カラフル」編集部



## あなたが声を挙げた経験は？

こちらは、江戸川区民のみなさんからカラフルなエピソードを募り、1つのテーマについて一緒に考えていくコーナーです。

今回のテーマは、「声を挙げた、身近な経験」についてです。

令和5年度に実施した江戸川区人権・男女共同参画推進講座にご参加いただいた方々からお寄せいただいた声を紹介します。

緊急避妊薬のスイッチOTC※(に声を挙げた) (匿名)

※Over the Counterの略で、医師の処方がなくても薬局で購入できる状態のこと

8/7講座「私たちのSRHRなんていの？」受講後アンケートより

息子2人に性自認に対しての知識を教えるようにしています(匿名)

7/26講座「自分と相手を大切にするって？」受講後アンケートより

隣の部署にパワハラをする上司がいて、皆見て見ぬふりをしていたが、ある時思い切って自分の上司との面談時に「黙認していくはいけないと思う」と伝えました。上司が人事部に働きかけたようで、しばらくして職場全体にハラスマント防止の通達が出されました。黙っていたら何も変わらないが、声を上げれば変化が生じるのだと思いました。(匿名)

7/26講座「自分と相手を大切にするって？」受講後アンケートより

お茶汲みや会議室準備、朝のオフィス掃除など女性がやる仕事をしました。それが納得いかず、この制度や人間関係について上司に相談しました。すると社長面談をさせてくれ、社長が全社に向けてメールを流してくれ改善されました。このことで意外と男性社員の中にも、女性にさせるのはおかしいと感じている人が居ることを知り、人間関係も良くなりました。(匿名)

7/15講座「30代働く女子が感じたジェンダーギャップ」受講後アンケートより

ご投稿いただいたみなさん、ありがとうございました！



# データで見るU30世代の社会課題への意識



特集記事ではU30世代のアクティビスト4人に、それぞれが取り組まれている人権やジェンダーなどの社会課題、その問題に关心を持ったきっかけについてお話を伺いました。U30世代全体では、今の社会についてどのように感じていて、どんな社会課題に关心を持っている人が多いのでしょうか？

## ■選挙への関心は低いけれど、日本には社会課題が多いと考えている

公益財団法人明るい選挙推進協会が2022年3月に発表した「第49回衆議院議員総選挙全国意識調査」(※1)によると、選挙への世代別の関心度は、U30世代が最も低い47.2%(全体 71.0%)となりました。

また、YOUTH THINKTANK(一般社団法人NO YOUTH NO JAPANと株式会社日本総合研究所(日本総研)による合同プロジェクト)が2022年6月に実施したU30世代の政治意識調査(以下、U30政治意識調査)(※2)でも、第26回参議院議員通常選挙(2022年)に投票しない最も多い理由が「選挙にあまり関心がないから」(32.6%)となりました。

一方、U30政治意識調査において、58.4%が「日本には解決するべきたくさんあると思う」、52.8%が「子供や若者が対象となる政策や制度については子供や若者の意見を聞くようにすべきだと思う」と答えています。

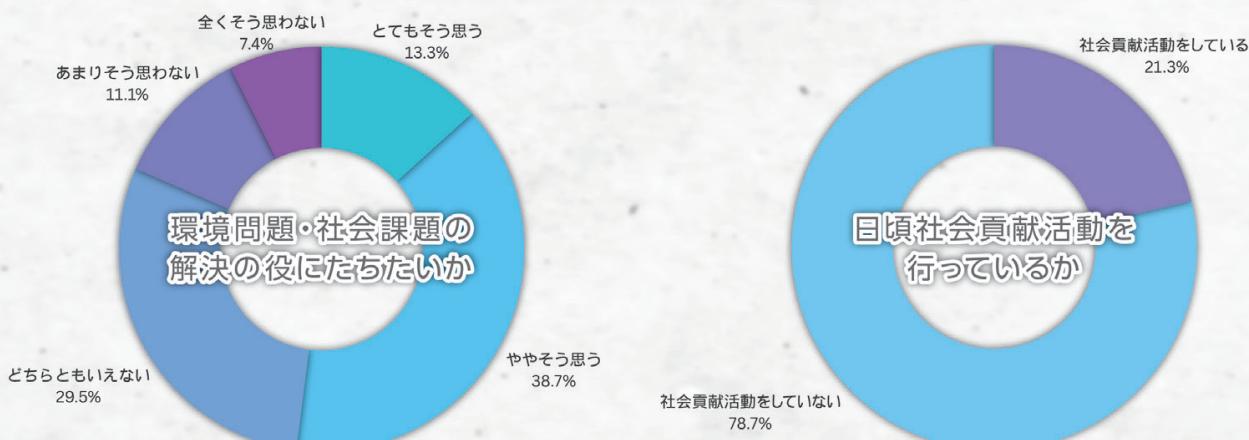
このように「日本には社会課題が多い」、「若い世代の声を聴くべき」と考えるU30世代は全体の半数以上いるものの、必ずしも投票への意向には結びついていないと考えられます。

## ■U30世代が関心のある社会課題は？

それでは、U30世代は具体的にどのような社会課題に関心をもっているのでしょうか？2022年に日本総研が中学生・高校生・大学生1,000人を対象に実施した「2022若者意識調査—サステナビリティ、金融経済教育、キャリア等に関する意識一」(※3)によると、国内や海外の環境問題や社会課題への関心について「人権(ハラスメント・いじめ・虐待・不登校・人種差別等)」への関心が最も高い結果となりました。また、「ジェンダー平等、ダイバーシティ・LGBTQへの配慮」も高校生と大学生の女子では10%を超える結果となっています。

一方、「環境問題・社会課題の解決の役にたちたい」と回答した人は52.0%（「とてもそう思う」と「ややそう思う」の合計）でしたが、「目頃社会貢献活動を行っている」と回答した人は21.3%でした。ここでも社会課題への解決意欲と行動にギャップがあると見受けられます。

社会課題の解決意欲と行動のギャップ



日本総研「2022若者の意識調査—サステナビリティ、金融経済教育、キャリア等に関する意識一」Ex2:社会課題の解決意欲と行動のギャップ参照

江戸川区では、人権・男女共同参画の視点に立った意識啓発の一環として、U30世代の関心度も高い社会課題の分野で研究・活動をされる方の講座など、毎月様々な講座を実施しています。これらの講座が、あなたにとってのテーマの発見や気づき、そして行動へのきっかけとなれば嬉しいです。ご参加お待ちしています！

※1 公益財団法人明るい選挙推進協会「第49回衆議院議員総選挙 全国意識調査」  
<http://www.akaruisenkyo.or.jp/wp/wp-content/uploads/2018/07/49syuishiichosa.pdf>

※2 YOUTH THINKTANK「U30世代の政治意識調査」  
<https://www.jri.co.jp/company/release/2022/0701/>

※3 日本総研「2022若者の意識調査—サステナビリティ、金融経済教育、キャリア等に関する意識一」  
<https://www.jri.co.jp/MediaLibrary/file/pdf/company/release/2023/0810.pdf>



講座情報はこちらから！



過去の講座情報もご覧いただけます

# 人権・DV・配偶者暴力の相談窓口のご案内

※相談日は祝日・年末年始を除きます。

## 人権について

### ■ みんなの人権110番 (全国共通人権相談ダイヤル)

月～金 8:30～17:15

☎ 0570-003-110 (ナビダイヤル)

### ■ Tokyo LGBT相談

電話相談 火・金 18:00～22:00

☎ 050-3647-1448

(事業者の方向け) 火・金10:00～17:00

☎ 050-3138-4011

LINE相談 月・水・木 17:00～22:00

LGBT相談@東京 ➔



### ■ 東京都人権プラザ

月～金 9:30～17:30

☎ 03-6722-0124・0125

## 人権・男女共同参画推進センターのご案内

※相談日は祝日・年末年始を除きます。

## 大人のなんでも相談

夫婦・親子の問題などの解決に向け、ご相談の内容に応じて適切な窓口を紹介いたします。法的な判断を必要とする問題に対し弁護士が助言や情報提供をします。

受付時間: 月～金・第3土曜日 8:30～17:00

### ■ 法律相談(予約制)

#### 「LGBTQ」、「離婚・DV等」の法律相談

対象: 区内在住、在勤、在学の方

概要: 面接・オンライン相談・週3回/1回1時間

相談日: ホームページで詳細をお確かめください。

#### 女性弁護士による法律相談

対象: 区内在住、在勤、在学の方

概要: 面接・オンライン相談 1回30分

相談日: 毎月第3土曜日 13:30～16:30

予約受付: 当月1日午前8時30分からとなります。

閉庁日と重なった場合は、翌開庁日からとなります。

児童家庭課相談係 ☎ 03-6231-8150

### ■ ひとり親家庭の貸付金・自立支援事業

ひとり親家庭の就学支援・就職・転宅などの資金の融資や、経済的な自立に向け資格を取得する際に要する費用の助成(児童扶養手当受給者等が対象)などの相談に応じます。

児童家庭課相談係 ☎ 03-6231-8150

## DV・配偶者暴力について

### ■ 江戸川区配偶者暴力相談支援センター

対象: 区内在住、在勤、在学の方

月～金 9:00～17:00

☎ 03-5662-1526

### ■ 江戸川区DV相談室

対象: 区内在住、在勤、在学の方

※面接相談(女性のみ、予約制、最終受付16:00)もできます。

月～金 9:00～17:00

☎ 03-6638-8537

## 親子のかかわりや 子育ての悩みについて

### ■ 親子のための相談LINE ➔



### ■ ひとり親相談室すずらん

子育てや生活に関する内容から就業紹介まで、専門の相談員がワンストップで相談に応じます。

相談日: 月～金・第3土曜日

9:00～17:00

☎ 03-6638-8085



## 同性パートナー関係申出書(予約制)

同性パートナー関係のお二人からの申出書を受領し、カード型の受領証を交付しています。

予約受付: 月～金 8:30～17:00

総務課人権啓発係 ☎ 03-6638-8089



## 人権・男女共同参画推進センター

所在地 瑞江2-9-15

江戸川区ホームページ ➔

